

On the Sand 「浜辺で」 —(74 語)—

家族で海に行き子どもたちは遊び、大人は浜辺でのんびりしているという情景が浮かびます。この本ではパパがいたずらをして子どもたちをあつと言わせませす。ビフの気持ちの変化に注目してみましょう。

おうちで遊ぼう

● Find Dad's hat.

- 1) 本を開いて、最後まで CD を聞きます。
- 2) 次にパパの帽子がどこにあるのか、それぞれのページを開きながら探していきます。

“Let's find Dad's hat.” 「パパの帽子を探してみましょう」 “Point to Dad's hat.” 「パパの帽子を指さしてみましょう」このパパの帽子が、この本のキーとなっています。

- 3) ビフの気持ちとパパのいたずらは、どうなっているのでしょうか。次のページを参考に子どもさんとお話してみましょう：

p.13 でビフが“Oh, no!” と言っています。ビフは p.13 ではびっくりしています。“Why is Biff surprised?” 「なぜビフは驚いたのでしょうか？」。しかし、p.15 では怒った顔をしています。“Why is Biff cross?” 「なぜビフは怒っているのでしょうか？」

グループで遊ぶ

● Look at ~

On the Sand には look at ~ という表現が繰り返して出てきます。双眼鏡を使って、いろいろな物を見てみましょう。

- 1) CD を聞きます。
- 2) 「双眼鏡」を作ります。トイレトペーパーの芯を半分にして、手で持って目にあてて双眼鏡のように使います。
- 3) donkeys「ろば」、boat「ボート」、go-karts「ゴーカート」、Dad's hat「パパの帽子」の絵を子どもたちに描いてもらいます。部屋の壁にそれぞれの絵を少しずつ離してはります。
- 4) 本を開きながら、もう一度 CD を聞きます。looked at ~ と聞こえたら、3)で壁に貼っておいた絵の中から聞こえたものを探して 2)の「双眼鏡」でのぞいてみます。Use the binoculars to see the objects. 「双眼鏡で目的の物を見て見ましょう。」
- 5) 4)ができるようになったら、次に教えた単語のカードまたは実物を10個くらい部屋に並べます。
- 6) 1人が「双眼鏡」を使って、黙って3つ何かを見ます。
- 7) 他の子どもが、6)の子どもが見た順に、それらが何かを言っていきます。

例) — looked at ~.

例) メアリーがボール、本、窓を見た場合: Mary looked at a ball, a book and a window.

教室では次のように進めましょう:

- 1) Let's listen to the CD.
- 2) Let's make binoculars by the toilet paper core.

- 3) Draw pictures of donkeys, boat, go-karts, and Dad's hat. Put them on the wall.
- 4) Look at the book and listen to the CD once again. As you listen, look at the things when you hear “~ looked at –” using binoculars.
- 5) Prepare 10 cards or props.
- 6) One of the children look at three things.
- 7) The others mention what the child looked at by saying, -- looked at~~.

	On the Sand	浜辺で
1	Biff and Chip played on the sand.	ビフとチップは砂浜で遊んでいます。
2-3	Dad went to sleep. Biff and Chip put sand on Dad.	パパが眠ってしまいました。 ビフとチップはパパに砂をのせています。
4-5	They made a sandcastle. They put Dad's hat on top.	ビフとチップは砂のお城を作りました。 てっぺんにパパの帽子をのせました。
6-7	They went to get an ice cream. Dad was still asleep.	ビフとチップはアイスクリームを買いにいきました。 パパはまだ眠っています。
8-9	Chip looked at the donkeys. Biff looked at the boat.	チップはロバを見ている。 ビフはボートを見ている。
10-11	They looked at the go-karts.	ビフとチップはゴーカートを見ました。
12-13	They looked at Dad's hat. “Oh no!” said Biff.	パパの帽子を見ている。 「やだ」ビフは言いました。
14-15	Dad was hiding. Biff was cross.	パパは隠れていました。 ビフは怒っています。
16	The hat was on a stick.	帽子は棒の上のっかっていたのです。

The Egg Hunt 「たまご探し」 —(80 語)—

エッグハンティング(たまご探し)といえば、イースターです。

イースター(復活祭)は、イエス・キリストが十字架にかけられ、復活したのを祝うキリスト教の祝日です。3月22日から4月25日間の移動祝祭日です。春分の後の、最初の満月の次の日曜日がイースターです。春の女神である Eostre (イストーレ)を意味するチュートン語に由来するとも言われています。お花、たまご、うさぎが象徴で、たまご拾いにはイースターバスケットを使います。

イースターの前には、子どもたちは卵をパステルカラーに塗ったりします。卵は命の象徴です。イースターの朝には卵を食べたり、新しい洋服をまとい教会に行ったり、親戚や友人にカードを送ったりするのです。

エッグハント(卵さがし)は、イースターバニーが公園に隠した卵を子どもたちが探して、バスケットに入れていき、取る数を競います。実際にはおとなが卵を隠します。また、卵ころがし大会も行われます。これはスロープから卵をころがし、われずに最初に下についた卵が勝つものです。イースター翌日の月曜日にホワイト・ハウスで行われる大会は有名です。その様子はホワイトハウスのウェブサイトにも紹介されています。

イースターの食べ物としては、ホットクロスバンがあります。十字架が上についた小さなケーキのようなものです。これは Good Friday (聖金曜日=復活祭の前の金曜日で、キリストのはりつけの記念日)にイギリスで食べられています。

おうちで遊ぼう

●イースターエッグを作ろう

イースターエッグは、穴をあけて中身を出して作る方法とゆで卵で作る方法があります。ここでは子どもたちが扱いやすい、ゆで卵での作り方をご紹介します。

- 1) たまごを固ゆでにする。発色しやすくするようにお酢を入れてゆでるとよい。
- 2) クレヨンかろうそくで卵に絵を描く。
- 3) 2)で絵を描いた卵を食紅を溶かした液にひたして、卵の殻全体に色をつける。色が出る野菜(たまねぎの皮、ビートなど)につけこんで色をつけてもよい。

●英語で話そう

- 1) Boil the eggs. Add vinegar to the water. This will help the eggs keep the color.
- 2) Draw pictures on the eggs with crayons or candles.
- 3) Color the eggs with food coloring. Vegetables, such as onion skins or beets, can be used for natural coloring.

グループで遊ぼう

教室では、祝日や行事を紹介するときに、子どもたちに本を読んで聞かせてあげるのはわかりやすい方法です。春の到来をこの本で祝いましょう。

●The Egg Hunt

- 1) CD を聞きます。
- 2) イースターについて紹介します。
- 3) 本の P.8-9 を開きます。“Open your books to page 8.”

- 4) 子どもに自分のお気に入りの公園の絵を描いてもらいます。「自分のお気に入りの公園を描きましょう」「Let's draw a picture of your favorite park.”
- 5) 絵の中のどこかに卵を隠しながら描きます。“Put some eggs in the picture.”「絵のどこかに卵を入れましょう」
- 6) 描いた絵の下の部分に、どこに描いたかを書きます。
 “I put some eggs in the ().”
 「()に卵を入れました。」
- 7) 部屋のまわりに絵を飾ります。
- 8) 子どもたちは絵を持ちながら、ペアを作ります。じゃんけんをして、負けた人が
 “You can look for eggs. Where are they?”「卵をさがしてみてください。どこでしょう？」と聞きます。勝った人は相手の絵を見て、“Here they are.”「ここよ」と指しながらいいます。終わったら、新しいペアと同様にしていきます。制限時間内に、一番答えられた人が勝ちです。

	The Egg Hunt	たまご探し
1	Kate came to stay.	ケイトがお泊りにきました。
2-3	Mum and Kate made a cake. Kate put little eggs on it.	ママとケイトはケーキを作りました。 ケイトはちっちゃな卵をのせています。
4-5	Wilma looked at the little eggs. She had an idea.	ウィルマがちっちゃな卵をながめています。 ウィルマは思いつきました。
6-7	Wilma went to the park. She wanted to hide some eggs.	ウィルマは公園に行きました。 ウィルマは卵を隠そうとしています。
8-9	She put them in the trees. She put them in the flowers.	ウィルマは卵を木に隠しました。 ウィルマはお花にも隠しました。
10-11	Wilf and Kate came to the park.	ウィルフとケイトが公園にやってきました。

		た。
	“You can look for eggs,” said Wilma.	「卵をさがしてみてください」ウィルマが言いました。
12-13	Kate looked for the eggs.	ケイトが卵探しをしました。
	“Where are they?” she said.	「どこかしら？」ケイトは聞きました。
14-15	The squirrels had them.	リスが卵を運んでいました。
	“Squirrels like eggs,” said Kate.	「リスは卵が好きなのね」ケイトが言いました。
16	“So do I,” she said.	「私も好きよ」ケイトが言いました。

Nobody Wanted to Play

「だれも遊んでくれない」 — (79 語) —

おうちで遊ぼう

●Echoing

- 1) CD を聞きます。
- 2) CD を聞きながら、p.4 から左側のページを大人がジェスチャーをします。子どもは右側のページのジェスチャーをします。
例) Wilf played on the rocket. (大人がのぼる動作をします。) “I am a spaceman,” he said. (子どもが宇宙遊泳している動作をします。)
- 3) CD を聞きながら、大人は左のページ、子どもは右のページのセリフを言える所だけマネをして繰り返します。

グループで遊ぼう

この本ではいろいろな職業が出てきます。子どもたちのあこがれる職業、興味があるものは何でしょうか。

●Find the job

- 1) CD を聞きます。
- 2) spaceman「宇宙飛行士」、 juggler「ジャグラー(曲芸師)」、 cowboy「カウボーイ」、 stuntman「スタントマン」、 fireman「消防士」、 spiderman「スパイダーマン」をハガキ大のカードに描きます。下には I am a ~と書きます。
- 3) カードを封筒に入れます。
- 4) 子どもたちは輪になり、CDを聞きながら隣の子どもに時計回りでカードを回してい

きます。

- 5) 2ページ読むごとに、“I am a~.”「私は～です。」といいながら、封筒をあけてみます。言われたカードを実際に持っていたこどもは1ポイントもらえます。絵を封筒に再度戻します。
- 6) 輪の中にカードを戻し、みんなでカードを混ぜる。
- 7) 同様に繰り返します。

- 1) Listen to the CD.
- 2) Draw the following on postcards: spaceman, juggler, cowboy, stuntman, fireman, and ‘spiderman’.
- 3) Put the cards into the envelopes.
- 4) Make a circle. Listen to the CD and give your envelope to the person next to you on your left.
- 5) Read 2 pages aloud with the audio. When children read “I am a~.”, they open their envelopes. If the card matches the sentence of the CD, you get 1 point.
- 6) Put the cards back to the centre and mix together well.
- 7) Continue the same procedure.

	Nobody Wanted to Play	誰も遊んでくれない
1	Wilf was cross.	ウィルフが怒っています。
2-3	Nobody wanted to play. He went to the park.	誰も遊んでくれません。 ウィルフは公園に行きました。
4-5	Wilf played on the rocket. “I am a spaceman,” he said.	ウィルフはロケットで遊んでみました。 「宇宙飛行士だぞ」ウィルフは言いました。
6-7	He played on the see-saw.	シーソーで遊んでみました。

	"I am a juggler," he said.	「ジャグラーだぞ」ウィルフは言いました。
8-9	He played on the horse. "I am a cowboy," he said.	ウィルフは馬乗りをしました。 「カウボーイだ」ウィルフは言いました。
10-11	He played on his bicycle. "I am a stuntman," he said.	ウィルフは自転車に乗りました。 「スタントマンさ」ウィルフは言いました。
12-13	He climbed up the ladder. "I am a fireman," he said.	ウィルフはおすべりの階段を登りました。 「消防士だよ」ウィルフは言いました。
14-15	He climbed on the wall. "I am a spiderman," he said.	ウィルフは壁をよじのぼります。 「スパイダーマンさ」ウィルフが言いました。
16	Whoops!	おっと！

A Cat in the Tree

「木にいるネコ」

—(79 語)—

木にかかったはしごをのぼったり下りたり... みんながネコに振り回されています。climb は「上る」時だけでなく、手足を使って降りる(climb down)、どこかに苦労して移動する、上昇する、など様々な意味があります。

おうちで遊ぼう

●Up and Down

- 4) CD を聞きます。
- 5) 絵を指差しながらもう一回聞きます。
- 6) 今度は up と聞こえたら立ち、down と聞こえたら床にすわります。

グループで遊ぼう

●動いてみよう

- 1) CD を聞きます。
- 2) 本に出てくる表現のジェスチャーを考えます：
on the wall「塀にのる」、climb up「よじ登る」、get the cat「ネコを捕まえる」、get down「下りる」、climb down「つたいながら降りる」、stuck「固まる」、jump down「飛び降りる」、put the ladder up「はしごをかける」
- 3) CDでお話を流しながら、それらのジェスチャーをしてみます。“Listen to the CD and do the gestures.”
- 4) 今度は輪になって、指導者のかけ声にあわせて子どもたちは2)のジェスチャーからそれぞれひとつをしてみます。指導者と同じジェスチャーをした人は負けです。

負けたらすわりますが、すわったままジェスチャーをしていきます。生き残りゲームです。

1	Floppy barked at a cat. The cat ran up a tree.	フロッピーがネコに向かってほえています。 ネコが木にかけあがります。
2-3	Biff was cross with Floppy. Wilma climbed on the wall.	ビフはフロッピーを怒っています。 ウィルマは壁によじ登ります。
4-5	Wilma climbed up the tree. She couldn't get the cat.	ウィルマは木にのぼります。 ウィルマはネコに届きません。
6-7	Wilma couldn't get down. Wilma's dad was cross.	ウィルマは下りられなくなりました。 ウィルマのパパは怒っています。
8-9	He put the ladder up. Wilma climbed down.	パパははしごをかけました。 ウィルマは下りてきました。
10-11	Wilma's dad climbed the tree. He couldn't get the cat.	ウィルマのパパが木に登りました。 パパはネコに届きません。
12-13	Wilma's dad was stuck. The cat jumped down.	パパが動けません。 ネコが飛び下りました。
14-15	The fireman put a ladder up. Wilma's dad climbed down.	消防士がはしごをかけました。 ウィルマのパパが下りてきました。
16	"Oh no!" said everyone.	「まったく！」みんなが言いました。

The Rope Swing 「タイヤブランコ」 —(77 語)—

子どもたちで外遊びに出るときには、必ず大人にひと声かけてから出かけていますね。年上の子どもたちには小さい子どもやペットの面倒を見るようにいいながら、大人は許可してあげますね。ここでも Extended Stories によると、ウィルフとウィルマはパパに、ビフとチップはママに、小川に行って遊んでよいのか聞いてから出かけていきます。ビフとチップはぬれないようにすること、キッパーを連れていくことと言われ出してもらいます。お子さんには、外に出る前には誰か大人に声かけするように、言い含めましょう。

おうちで遊ぼう

●Watch out!

本を読みながら、本の中のページで危険な場所を探します。外で遊ぶときに気をつけるべきことを、お子さんと一緒に確認していきましょう。

- 1) CDを聞きます。
- 2) さあ、今度はお子さんが実際に近くに遊びに行くつもりで、もう一度CDを聞きましょう。どんな事に気をつければよいのかをページごとに確認していきましょう。危ない所を指さして、“Watch out.”と言いましょ。

例：橋では手すりにつかまる。“Hold on to the handrail on the bridge.” ぬれないようにする。“Don't get wet.”

- 3) 次に動物たちに注目しながら指で追い、CDを聞きます。みんな危ないことに気づいていますね。

グループで遊ぼう

みんなの危険を心配してほえるフロッピー。それとは裏腹にフロッピーを誤解していく子どもたち。タイヤのブランコは、はたしてどうなるのでしょうか。

●Have a go.

- 1) CDを聞きながら、子どもたちは自分のなりたいキャラクターを決めます。
“Who’s your favorite character?” 「好きなキャラクターはだれ？」
- 2) 縄跳びを輪にして、床に置く。そこがタイヤのブランコということにします。
“Make a circle with the jumping rope.” 「縄跳びで丸を作って。」
- 3) 子どもたちは、自分のなりたいキャラクターになります。CDを聞き、p.3 からブランコに乗る所では縄跳びの輪の中にはいっていきます。フロッピー役のこどもは、表情をジェスチャーでしめします。
- 4) 1回流し終わったら、次々にひとりずつずれていき、役を交代して何度もやってみます。セリフを覚えてきたら、輪に入るときに言いながら入っていきます。

1	The children went to the stream.	子どもたちは小川に行きました。
2-3	They looked at the swing. Wilf climbed on the swing.	タイヤのブランコがありました。 ウィルフがブランコによじ登りました。
4-5	Chip pushed Wilf. Floppy looked at the rope.	チップがウィルフを押ししました。 フロッピーがロープを見えています。
6-7	Biff climbed on the swing. Floppy barked and barked.	ビフもブランコに登りました。 フロッピーがワン、ワンとほえます。
8-9	Chip climbed on the swing. Floppy barked and barked and barked.	チップがブランコに登りました。 フロッピーがワン、ワン、ワンとほえます。
10-11	Kipper went on the swing.	キッパーもブランコに乗っかります。

	“What a silly dog!” said Kipper.	「なんてこわがりのイヌなんだ」キッパーが 言いました。
12-13	Wilma went on too. “What a silly dog!” said Wilma.	ウィルフも乗りました。 「なんてこわがりのイヌなんだ」ウィルマが 言いました。
14-15	The children went home. Floppy looked at the rope.	子どもたちが帰りました。 フロッピーがロープを見ます。
16	Splash! Oh, no!	バシャーン！ あーあ！

一家がピクニックに出かけます。ランチボックスは簡単なサンドイッチやフルーツを持っていくのが一般的です。

おうちで遊ぼう

●イントネーション

- 1) CD を聞きます。
- 2) 次にイントネーションに注意しながら聞きます。文章を指でなぞっていきます。上がる調子で読むときは上に指を向け、下がる調子ならば下向きにして、指で線を描きながら読んでいきます。これは、抑揚を意識するためです。
- 3) 3回目のリスニングでは、立ち上がって、上がるときは背伸びして、下がるときはしゃがんでみましょう。

グループで遊ぼう

●できるかな

- 1) “Get ~.” “couldn’t get ~” の練習をしていきます。クマのぬいぐるみと棒(植物の支柱など)を用意します。クマを離れた床に寝かせます。
- 2) “Get Teddy.” と大人が言います。ひとりずつ棒で取るのに挑戦します。棒で Teddy を引き寄せていたら、“~could get Teddy.” 「~がテディを取れた。」 と言い、取れなければ “~couldn’t get Teddy.” 「~テディを取れなかった。」 と言っていきます。

1	Mum and Dad sat on the rug.	ママとパパがラグにすわっています。
2-3	The children played by the stream. Biff went on the bridge.	子どもたちが小川に遊びに行きます。 ビフが橋にのぼりました。
4-5	They dropped sticks in the water. Kipper couldn't see.	子どもたちは枝を流れに落としました。 キッパーには見えません。
6-7	Kipper climbed up. He dropped Teddy in the water.	キッパーがよじのぼりました。 キッパーはテディを流れに落としてしまいました。
8-9	"Get Teddy," said Kipper. Biff couldn't get Teddy.	「テディを取って」キッパーが言いました。 ビフはテディを取れません。
10-11	"Get Teddy," said Kipper. Mum couldn't get Teddy.	「テディを取って」キッパーが言いました。 ママはテディを取れません。
12-13	"I want Teddy," said Kipper. Dad couldn't get Teddy.	「テディがほしいよ」キッパーが言いました。 パパもテディを取れません。
14-15	Dad fell in. Splash!	パパが落ちてしまいました。 バシャーン！
16	"I am a frogman," said Dad.	「フロッグマンだぞ」パパが言いました。（* ここでは Dad が頭にカエル(frog)をのせて おどけているが、frogman は本来は「潜水 夫」の意味）

Glossary 本文にでてくることば(アルファベット順)

asleep	眠って
bark(barked) at	ほえる(ほえた)
bicycle	自転車
boat	ボート
bridge	橋
can～	～をできる
cat	ネコ
children	子どもたち
climb	手足を使い移動する。
couldn't (could not)	できなかった
cowboy	カウボーイ
cross	怒っている
Dad	パパ
donkeys	ろば
dropped	落とした
eggs	卵
everyone	みんな
fell (fall) in	落ちた(落ちる)
fireman	消防士
flowers	花
frogman	フロッグマン(カエル人間)、潜水夫
get	得る、食べる、取る
go-karts	ゴーカート

hat	帽子
hide, hiding	隠す、隠している
horse	馬
ice cream	アイスクリーム
idea	アイディア、考え
juggler	ジャグラー
ladder	はしご
like	好き、～のような
little	ちいさな
look for	～を探す
look(looked) at	～を見る(見た)
made(make)	作った(作る)
nobody	だれも...ない
Oh, no!	あ～あ
on top	先端に、一番上に
park	公園
play(ed)	遊ぶ(遊んだ)
push(ed)	押す(押した)
put	おく、つける
put ~ on...	～を...に置く
rocket	ロケット
rope	ロープ
run(ran) up	かけ上がる(かけ上がった)
said	言った
sand, on the sand	砂、砂に

sandcastle	砂のお城
sat(sit)	すわった(すわる)
see	見る、わかる
see-saw	シーソー
silly	おばかな
some	いくつかの
spaceman	宇宙飛行士
spiderman	スパイダーマン
splash	バシャーン(水、泥が飛び散る)
squirrels	リス
stay	泊まる
stick(s)	棒
still	まだ
stream	小川
stuck	つまって
stuntman	スタントマン
swing	ブランコ
they	それらは、彼らが
tree(s)	木
was	is の過去形
went	行った
went on	続けた
went to sleep	眠った
where	どこ
whoops	おっと

各ストーリーの関連語句

On the sand	
海辺	seaside
こぐ	paddle
ふち	edge
うたた寝をする	snooze
眠って	asleep
乗り物にのる	have rides
立ち入り禁止	Keep out
はみ出す	stick out
The Egg Hunt	
砂糖、塩、紅茶を買う	Buy sugar, salt, tea
スティーブに電話	Phone Steve
Nobody wanted to play	
散歩する	go for a walk
救助する	rescue
A Cat in the tree	
ぶらさがる	cling on to
着陸する	land on
フィルターを掃除	clean filter
銅像	a statue
The Rope Swing	
タイヤ	a tyre

By the stream	
小枝	twig
カラス	crow

Kipper the Clown 「ピエロのキッパー」 (69語)

子どもたちは、大人をサーカスでもてなしています。大人たちからはほほえみがこぼれます。子どもたちは大人を一生懸命楽しませようとしているのです。Kipper the Clown は中学生や高校生からも人気がある作品です。キッパーに、はらはらドキドキさせられるファンが多いのです。

おうちで遊ぼう

●おもしろいのは

- 1) CDを聞く。
- 2) 子どもたちがしている中で、一番おもしろいと思う所はどこでしょう。
- 3) 決まったら、“I like this page the best.” 「このページが一番好き。」と言いましょ。教室で人気があるのは、何といっても p.14 から p.16 です。

グループで遊ぼう

●Lを探せ

この本にはたくさん L の発音が出てきます。それを練習してゲームをしていきましょう。

- 1) 本に出てくる L が含まれる単語を練習します。clown, pulled, leg, laugh, Wilma, look, looked などが出てきます。
(Lは舌の先端を前歯のちょうど裏に押し付けて、はねるように発音します。一方 R は口のどこにも舌をつけずに発音しましょう。)
- 2) ペアを作ります。
- 3) それぞれの右手(または左手)を二人の間に差し出します。
- 4) CD をかけます。
- 5) L の音が聞こえたら、相手の手をすばやくたたきます。自分の手をたたかれない

ように逃げて、同時に相手の手をたたきます。たたいた方が勝ちます。

教室で:

- 1) Let's practice the pronunciation of "L", clown, pulled, leg, laugh, Wilma, look, looked.
(Press the tip of your tongue at the back of your front teeth.)
- 2) Make pairs.
- 3) Put your right hand in front of you.
- 4) Play the CD.
- 5) When you hear the sound "L", slap your partner's hand but try to escape from your partner. The person who hits the partner wins.

1	The children put on a circus.	子どもたちがサーカスをしています。
2-3	Kipper was a clown. Floppy pulled his leg.	キッパーはピエロです。 フロッピーは足をひっぱります。
4-5	Chip was a strong-man. He made everyone laugh.	チップは力持ち。 みんなを笑わせます。
6-7	Wilma and Biff did gymnastics.	ウィルマとビフは体操をしています。
8-9	Everyone had a drink. "What a good circus!" said Mum.	みんな飲み物を飲みました。 「なんて素晴らしいサーカスなのでしょう」とママが言いました。
10-11	Wilf was a stuntman. Kipper was fed up.	ウィルフはスタントマンです。 キッパーはうんざり。
12-13	He wanted to be a stuntman. "Look at me!" he said.	スタントマンになりたいがっていたのです。 「見ててね！」キッパーが言いました。
14-15	Everyone looked at Kipper. Oh no!	みんながキッパーを見ていました。 あ～あ。
16	"I'm a clown, after all," said Kipper.	「やっぱりピエロだもの」とキッパーが言いました。

Strawberry Jam 「いちごジャム」 (76語)

春といえば「いちご狩り」やお花見です。子どもたちにとって、好きなだけ自分で摘んでその場でも食べられるいちご狩りは魅力的です。

おうちで遊ぼう

●ジャム作り

いちごが新鮮な時期に、ジャムを作ってみましょう。サイズは小さくても新鮮なものだと風味豊かでおいしくジャムができます。生クリームとつぶしたイチゴを冷凍して、何度かかきまぜながらアイスクリームを作ってもおいしいです。

- 1) CDを聞きます。
- 2) 本のラストでは traffic jam「交通渋滞」とjam「ジャム」をひっかけていますが、ここではジャム作りをしましょう。
 - 1) “Wash Strawberries.”「いちごを洗う。」
 - 2) “Drain well.”「よく水を切る。」
 - 3) “Put strawberries in a pan with sugar and 1 tablespoon lemon juice.”「なべにいちごを入れ、砂糖とレモンを加える。」
 - 4) “Boil uncovered, until jam is thick.”「ふたをせずに、とろりとするまで煮る。」
 - 5) “Quickly skim of foam.”「あわを取り除く。」

ジャムを煮ていると部屋全体に甘すっぱい香りが漂ってきて、なんとも幸せな気分です。

グループで遊ぼう

●春夏秋冬

いちごはハウス栽培もあり、一年中売られています。しかし、果物には旬があります。それを子どもたちに知ってもらいたいですね。

- 1) CDを聞きながら本を読みます。
- 2) 子どもたちにイチゴ摘みに行ったことがあるか聞いてみましょう。“Have you been to strawberry pick up?” 「いちご摘みに行ったことがある？」いちごの他にも、何かフルーツ狩りに行ったことがあるかどうか聞いてみましょう。サクランボ、ぶどう、みかんなど出てくるのではないのでしょうか。それらの季節がいつだったか、思い出してもらいましょう。季節の言い方: spring, summer, autumn(英)/ fall(米), winter くだもの名前: bananas, grapefruits, cherries, grapes, watermelons, peachesなどを練習して確認しておきます。
- 3) おままとセットを使って、くだもの狩りをします。おもちゃのフルーツを真ん中に広げで、それを囲むように子どもたちは丸くなりすわります。
“It’s spring.” 「春です。」と大人が声をかけたら、子どもたちは春が旬のフルーツを取ります。
- 4) 何度かくりかえしたら、子どもたちの中から先生役をしてもらいます。
(応用として、2ヒントゲームもできます。ヒントを2つ言ってそのフルーツを取ってもらうのです。例: サクランボ ① Yamagata Prefecture. 「山形県」 ② It’s small and red. 「小さくて赤い。」)

1	Dad wanted to make jam.	パパはジャムを作りたいと思いました。
2-3	He picked some strawberries. They were too small.	いちごをいくつか採ってみました。 どれもちっちゃすぎました。
4-5	Mum took everyone to the pick-your-own. “You can all help,” said Dad.	ママがみんなをイチゴ狩りに連れて行って くれました。 「好きなだけとっていいんだよ」パパが言 いました。
6-7	They all picked strawberries. Kipper put some in his pocket.	みんながいちごを採っています。 キッパーはいくつかポケットにしまいました。
8-9	Chip took the strawberries to the car. The car was locked.	チップはいちごを車へと運びました。 車はロックされていました。
10-11	He forgot about the strawberries.	チップはいちごの事を忘れてしまいました。
12-13	The children had an ice cream. It was time to go home.	子どもたちはアイスクリームを食べていま す。 おうちに帰る時間になりました。
14-15	The car ran over the strawberries. “Oh no!” said everyone.	いちごが車にひかれてつぶれてしまいま した。 「あーあ」みんなが言いました。
16	“Traffic jam!” said Dad.	「車でイチゴジャムができちゃった」パパが 言いました。

The Jumble Sale 「がらくたバザー」 (81語)

The Jumble Sale はキッパーたちの学校のバザーです。気候が温暖な春に大整理をするのは、おうちがキレイになりそうです。

フリーマーケットに出店して、不用品をリサイクルすれば環境にもやさしく一石二鳥です。

おうちで遊ぼう

●フリマに出てみよう

- 1) CDを聞きます。
- 2) もう一度CDを聞きながら、聞こえてきた文章が示すものをイラストの中から探して指さします。
- 3) 子どもたちが選んだいらないおもちゃを、観察してみましょう。同じようなものがおうちにもあるのではないのでしょうか。
- 4) 不用品を探します。不用品を捨ててしまったらゴミになります。しかしリサイクルできれば、また別の人が使うことができます。環境を考える事をお子さんとお話し下さい。

フリーマーケットに実際に出店してみましょう。この本と同じことが起こってしまうかもしれません。

グループで遊ぼう

この CD は、イギリス英語とアメリカ英語の両方が収録されているという理想的な形態です。音のちがいは、聴いて感じ取って覚えていくのが一番効果的です。英語にはいろいろな国のものがあるという事を子どもたちに知ってもらいましょう。このゲームでは、音を楽しんでください。勝ち負けにはこだわらないで、楽しく行いましょう。

●イギリス英語？アメリカ英語？

- 1) CD を聞きます。
イギリス英語とアメリカ英語の両方のトラックを聞きます。
- 1) 2つの英語において、イントネーションや音のちがいで気づいたことを話し合います。子どもたちに違いを感じてもらうのが目的です。何が正しくて、何が誤りということはありません。違いを意識できればよいのです。
- 3) 次にイギリスとアメリカの場所を世界地図で確認します。
- 2) 国旗を人数分用意します。(時間があれば描いてもらいましょう。)子どもたちに2つの国旗を持たせます。
- 3) 大人はCDをかけます。この時にイギリス英語とアメリカ英語の両方から交互に選んで、流します。トラックを選びながら、イギリス英語とアメリカ英語の部分をかかわるがわるCDで聞いてもらいます。
- 4) 子どもたちはCDの声を聞き、イギリス英語だと思ったらイギリスの旗、アメリカ英語だと思ったらアメリカの旗を上にあげて大きく振ります。

1	Mum and Dad were spring-cleaning.	ママとパパは春の大掃除をしています。
2-3	Mum looked in a drawer. Dad threw things out.	ママが引き出しを見ています。 パパが物を出しています。
4-5	The children looked at the junk. They played with the old toys.	子どもたちががらくたをみえています。 子どもたちは古いおもちゃで遊んでいます。
6-7	Mum put the old toys in the car. The children were sad.	ママが古いおもちゃを車にいれました。 子どもたちは悲しそうです。
8-9	They all went to the jumble sale.	みんなそろってがらくた市に出かけました。
10-11	The children wanted to buy something. “What a lot of junk!” said Wilf.	子どもたちは何かを買いたいと思いました。 「なんてたくさんのがらくたがあるのだろう」ウィルフがいました。
12-13	The children saw their toys. They counted their money.	子どもたちは、自分たちのおもちゃを見ました。 お金を数えてみました。
14-15	It was time to go home. “What’s in the bags?” said Mum.	家に帰る時間になりました。 「袋には何が入っているの？」ママが聞きました。
16	Oh no!	あら、まあ！

At the Seaside 「海辺で」 (84語)

せっかく行った旅行先で、宿泊を予定していたホテルに泊まれなかったキッパーたち。でも、結局はもっと心地よい場所に泊まれてひと安心。

おうちで遊ぼう

●ホテル探し

- 1) CDを聞きます。
- 2) いったいいくつの宿泊施設が出てくるのでしょうか。数えながら、そこがよいか悪いかその理由を考えてみましょう。理由の例は()です。

- ① Seaview Hotel (火事)

例) It was on fire.

- ② Palace Hotel (高い)

例) It was expensive.

- ③ Grand Hotel (パパがいやがる)

例) Dad did not like it.

- ④ Guest House (満室)

例) There was no vacancy.

- ⑤ A bus (快適)

例) It was superb.

子どもはどこに泊まりたいと思うでしょうか。

グループで遊ぼう

●コメント

本当に火事に遭ってしまったら、それは大事件です。でも、実際に火事に遭う可能性はそれほど高くありません。火事について、また火事にまつわる表現を学ぶには絵本がぴったりです。

いろいろなホテルも出てきます。お話を注意深く聞くのは大切です。聞いた事を覚えているかどうか、チェックしてみましょう。

- 1) CDを聞きます。
- 2) At the Seaside の p.2 から p.9 を見ていきます。文字を見せずに、見開きのページで何が起こったのかを聞いていきます。

例) p.2 What happened? 「何が起こったの？」

p.4 Why didn't they stay at Palace Hotel?

「なんでみんなはパレスホテルに泊まらなかったの？」

p.6 Why didn't they stay at Grand Hotel?

「なぜグランドホテルに泊まらなかったの？」

p.8 Why didn't they stay at the Guest House?

「なぜゲストハウスに泊まらなかったの？」

p.15 Where did they stay? 「どこに泊まったのでしょうか。」

- 3) 次に気に入った1ページを選んで、コメントを書きます。はじめから長い文章を書くのは大変なので、1文から書きはじめましょう。コメントを書いてもらうには、ヒントとなるものを示してあげると書きやすいです。

I like ~. 「私は～が好き」 I don't like ~. 「私は～が好きでない」

I want to ~. 「私は～したい」

I don't want to ~. 「私は～したくない」 It's too expensive. 「高すぎる」 It stinks.

「臭い」

例)p.6&7 They looked at an old hotel. They didn't stay because it was dirty. I don't like the dirty hotel. こんなふうに1文書き足します。子どもの意見をひとことでよいので聞いていきましょう。

- 4) 子どもたちが、それぞれお友達の前で3)のノートを見せながら発表します。みんなの前で発表する訓練を、小さいうちからつんでおくのは効果的です。

1	The family went on holiday. Wilf and Wilma went, too.	一家は休暇で旅行しています。 ウィルフとウィルマも行きました。
2-3	The hotel had burned down. "Sorry!" said the man.	ホテルが焼けていました。 「申し訳ない」男の人が言いました。
4-5	They looked at a new hotel. "Too expensive," said Mum.	新しいホテルを見に行きました。 「高すぎるわ」ママが言いました。
6-7	They looked at an old hotel. "No, thank you," said Dad.	古いホテルも見に行きました。 「やめておこうよ」パパが言いました。
8-9	Every hotel was full. "Sorry!" said everyone.	どのホテルも満室でした。 「申し訳ございません」とどこも言います。
10-11	They had to go home. But the car broke down.	おうちに帰るしかありません。 それなのに、車がこわれてしまいました。
12-13	A farmer stopped his tractor. "Can I help?" he said.	農家の人がトラクターを停めてくれました。 「どうしましたか？」農家の人と言いました。
14-15	The farmer had a bus. "You can stay here," he said.	農家の人にはバスを持っています。 「ここにいてもいいですよ」農家の人と言いました。
16	"What a good holiday!" said Wilf.	「なんてよい休日なんだろう」ウィルフはいいました。

Kipper's Idea 「キッパーの思いつき」 (78語)

いじめやかからかわれる事は、学校でデリケートな問題です。普通ならば落ち込んでしまう所を、キッパーは持ち前の明るさで、なんなく切り抜けてしまいます。

おうちで遊ぼう

●いじめない

- 1) CDを聞きます。
- 2) p.7を開けます。もし、この絵が自分だったらどうするでしょうか。子どもといじめについて話しましょう。いじめられないためには、我慢しないでいやだと誰かに言うことが必要でしょう。いじめられてしまったら、強い態度で立ち向かうには勇気がいります。しかし、なかなか言い出せずに悩んでしまう場合もあります。子どもには、いじめに加担しないように、何かあったらすぐに言えるように普段から伝えておきましょう。

グループで遊ぼう

●いじめをやめよう

メイ先生のようにいじめの前兆が見られたら、すぐに対処することが大切です。

この本では、からかってキッパーの絵を描いた子どもたちに対して、平和的に解決策が見出されています。

- 1) CDを聞きます。
- 2) p.7 から p.9 までを注意深く読みます。子どもたちに問題点を聞きましょう。
例) What are the girls doing? (p.7) 「女の子たちは何をしていますでしょう」They are teasing Kipper.「キッパーをからかっています」
Why was Mrs May cross?(p.9) 「なぜメイ先生は怒っているのでしょうか」

Because the girls were drawing Kipper on the wall.「壁にキッパーを描いてしまっているからです」

普通なら自分を褒に描かれたらいやなものです。他人に不快を与えない、仲間はずれにしないなど、いじめをなくすにはどうしたらよいか考えましょう。

3)p.11 Kipper had an idea. 「キッパーはあることを思いつきました」のキッパーの所を、子どもたちの名前にします。自分ならばこのシチュエーションでどうするかを文章か絵でかいてみましょう。

1	Dad took Kipper to school.	パパはキッパーを学校に連れていきました。
2-3	They went past the library. A lady was painting the wall.	ふたりは図書館の前を通り過ぎました。 女の人が壁塗りをしていました。
4-5	Kipper ran into the playground. He wanted to play.	キッパーは校庭にかけていきます。 キッパーは遊びたいのです。
6-7	There was a drawing on the wall. It was a drawing of Kipper.	壁にいたずら書きがありました。 キッパーの顔でした。
8-9	The wall looked a mess. Mrs May was cross.	壁は汚れた感じでした。 メイ先生は怒りました。
10-11	The children were painting. Kipper had an idea.	子どもたちは絵を描いています。 キッパーはあることを思いつきました。
12-13	Miss Green drew circles on the wall. The children painted faces.	グリーン先生が壁に円を描いていきます。 子どもたちは顔を描いていきます。
14-15	The wall looked good. Everyone liked it.	壁がよくなりました。 みんなが気に入りました。
16	“Good for Kipper!” everyone said.	「キッパーのおかげね！」みんなが言いました。

The Snowman 「雪だるま」 (76語)

雪が降ると子どもたちは大喜びです。大人は雪かきをするのが結構大変でもあります。雪国に住んでいる人にとっては、雪どけの春は待ち遠しいものです。歩く時に、積もる雪をブーツで踏みしめて進まなくてよいのは軽快な気分なのです。

おうちで遊ぼう

雪遊びをしていて雪がブーツに入ってしまうと、つま先がじーんと冷たくなり冷えてしまいます。Try not to get snow inside your boots.「ブーツに雪が入らないようにね」なんて言っても、子どもは寒さより、遊ぶ楽しさでいっぱい。暖かい室内に戻って、手足がかゆくなったりすることもしばしばです。

●なりきり雪遊び

- 1) CD を聞きます。
- 2) CD を流しながら、1ページずつ一時停止します。各ページごとに、絵を見ながら Wilf, Wilma, Biff, Kipper, Floppy の様子をそのまま絵の通りジェスチャーをしてみます。
- 3) 大人が誰かになり、あるページのジェスチャーをします。子どもはそのページを開きます。

今度は子どもに、お気に入りの登場人物になってもらいます。大人が絵本を開き子どもに見せながら、CD をかけます。子どもは自分の決めた登場人物と、全く同じポーズを本と同じように取ります。何ということがないアクティビティーですが、教室で行ったとき生徒たちが大変盛り上がりました。

グループで遊ぼう

●インタビュー

- 1) CDを何度も聞き、内容を理解します。
- 2) 子どもたちからインタビューされる人を選びます。残りの人はインタビュアーになります。
- 3) インタビューされる人は、その人物になりきって答えます。雰囲気を出すために、何かをマイクの代わりに持ってインタビューをしましょう。
- 4) 登場人物が言いそうな事をいくつか練習しておく、インタビューを受けた時に返事がスムーズにできます。

たとえば:

ウィルフのパパ: “Wow, I was surprised.” 「いやあ、びっくりした」

ウィルマのママ: “Nice pictures.” 「よい写真だわ」

フロッピー: “Let me try.” 「やらせて」

ビフ: “Rolling is fun.” 「ころがすのは楽しいわ」

1	It was snowing. “Hooray,” said the children.	雪が降っています。 「やったあー！」と子どもたち。
2-3	They saw Wilf and Wilma. Wilf was sweeping the snow.	ウィルフとウィルマを見つけました。 ウィルフは雪かきをしています。
4-5	Biff had a good idea. She made a giant snowball.	ビフはよいことを思いつきました。 大きな雪だるまを作ったのです。
6-7	Everyone pushed the snowball. Floppy barked and barked.	みんなで雪だるまを転がしました。 フロッピーはほえています。
8-9	Wilf had an idea. He wanted to play a trick.	ウィルフがあることを思いつきました。 いたずらをしたかったのです。
10-11	The children made a giant snowman.	子どもたちは大きな雪だるまを作りました。
12-13	Wilf’s dad opened the door. He saw the snowman.	フィルフのパパがドアを開けました。 雪だるまがいました。
14-15	Wilma’s mum took a photograph. The snow fell off the roof.	ウィルマのママが写真を取りました。 雪が屋根から落ちました。
16	“Six snowmen!” said Wilma’s dad.	「雪だるまが6つ！」ウィルマのパパが言いました。

Glossary 本文に出てくることば(アルファベット順)

a lot of ~	たくさんの～
after all	結局
broke down	こわれた
burn(ed) down	焼け落ちる(た)
bus	バス
buy	買う
car	車
circus	サーカス
circles	円
cleaning	そうじ
clown	ピエロ
count(ed)	数える(えた)
drawer	引き出し
drawing	絵
drink	飲み物
everyone	みんな
expensive	高い
faces	顔
fell	落ちた
forgot	忘れた
full	いっぱい
giant	ジャイアント
go home	家に帰る

good	よい
gymnastics	体操
holiday	休暇
Hooray	やったー
idea	考え、アイディア
It was time to-	—をする時間だった
jam	ジャム
jumble	がらくた(古くなった本、くつ、衣服など)
junk	がらくた(価値のないもの)
lady	女の人
laugh	笑う
leg	脚
locked	鍵がかかった
look good	よく見える
make	作る
mess	めちゃくちゃ
money	金
new	新しい
old	古い
open(ed)	開ける(開けた)
paint(ing)	描く(描いている)
past	～を通り過ぎて
photograph	写真
picked	摘んだ
pick-your-own	採り放題の

play a trick	いたづらをする
playground	校庭
pocket	ポケット
pull	引く
push(ed)	押す(押した)
ran into	かけていった
ran over	ひかれた
roof	屋根
sad	悲しい
sale	セール
saw	見た
small	小さな
snowball	雪の玉
snowmen	雪だるま
snowing	雪降り
something	何か
sorry	ごめんなさい。残念に思う。
stay	泊まる
stop(ped)	とめる。やめる。(とめた、やめた)
strong-man	強い人
sweep(ing)	掃く(掃いている)
traffic jam	交通渋滞
thank you	ありがとう
their	かれらの
things	物

threw	投げた
time	時間
took(take) A to B	A を B に連れていった(いく)
toys	おもちゃ
tractor	トラクター
You can all help.	採り放題

各ストーリーの関連語句

Kipper the Clown	
演技監督	circus leader
古いマットレス	old mattress
ポテトチップス	crisps
ビスケット	biscuits
ペダル	pedal
Strawberry Jam	
ほうれんそう	spinach
馬小屋	barn
The Jumble Sale	
屋根裏	roof space, attic
取り出す	unpack
At the Seaside	
空き	vacancy
湾	bay
～と姉妹都市になる	be twined with～

ペット禁止	No pets
港	port
Kipper's Idea	
図書館	library
いじめ	bullying
～をいじめる	pick on～
いじわるな女の子たち	nasty girls
The Snowman	
雪の玉をころがす	roll a snowball
とんがった鼻	a pointed nose
シュー	whoosh

The Barbecue 「バーベキュー」 (73語)

パパたちが大活躍してバーベキューパーティーをしています。公園やホームパーティーで親しい友達と和気あいあいバーベキューをするのは、欧米では一般的です。手軽に準備できて、大勢でも楽しめます。この *The Barbecue* では、そんな光景が描かれています。

【お知らせ】

この *The Barbecue* 内の一部に、文章およびイラスト音声とは異なる箇所がございます。本文中の「burgers」(バーガー)に当たる部分は、当初「sausage」(ソーセージ)だったのですが、ソーセージの一般的な原料が豚肉であることから、これを宗教的な事情により食べられない読者の子どもたちへの配慮として、別の単語(“chicken leg(s)”)に差し替えたものであり、版元である Oxford University Press 英国本社の判断におきまして、行われた変更でございます。

しかしながら、今回ご購入頂きました CD つきパックには、音声サポートを必要とする日本の英語学習者のために日本国内で独自に作成した CD とガイドブックを付属しておりますが、これらの作成時点ではソーセージという単語の差し替え予定がなかったため、CD とガイドの音声・文章は、差し替え後のバージョンには残念ながら対応しておりません。現在弊社ウェブサイトにて該当ページと音声^{が無料}でダウンロードいただけます。

www.oupjapan.co.jp/oxfordreadingtree

書籍本体と CD やガイドブックの内容との間に誤差が生じたこと、心よりお詫び申し上げます。ユーザーの皆様にはご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんが、何卒事情ご賢察の上、ご了承頂けましたら幸いです。尚、テキスト差し替えの詳細は以下の通りです。

【*The Barbecue*】

ページ	差し替え前 …付属 CD/日本語ガイド上の文章	差し替え後 …ストーリーブック上の文章
p.10	The dads cooked sausages.	The dads cooked burgers.
p.12	The sausages burned.	The burgers burned.

おうちで遊ぼう

●Have a barbecue

バーベキューをやったことがありますか。準備に時間がかかりますが、バーベキューにはアウトドアのよさがあります。でも、子どもたちはファーストフードもうれしいようですね。この *The Barbecue* はいわばバーベキュー入門です。

1) CD を聞きます。

2) ページをめくりながら、バーベキューパーティーを見ていきましょう。

p.1 “Who are they?”「だれがいますか？」

p.3 “Who prepares foodstuffs?”「だれが食材を準備していますか？」

p.10 “What are Dads preparing?”「パパたちは何を焼いていますか？」

3) 実際にバーベキューをしてみましょう。

欧米でバーベキューをする時には、男性が器具の準備をし、火をおこし、材料を焼いていく場合が多いです。女性は食材を切り準備しますが、簡単なものを用意します。ソーセージやハンバーグはよく使われます。ハンバーグといっても、ただ単にひき肉を丸めるだけの場合も多いです。ホームセンターなどで、香りの高い炭(メスキートなど)を仕入れてくるのも楽しみのひとつです。この本を読んだら、お友達と一緒にバーベキューをしてみませんか。バーベキューでは終わる頃に消すのがもったいないくらい、火がよい調子になってきます。火の後始末にも注意を払うようにしましょう。

グループで遊ぼう

●The barbecue

1) バーベキューのやり方を、読んでいきます。

2) CDを聞きながら、画用紙かカードにバーベキューの方法をまとめていきます。子

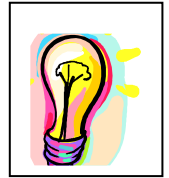
どもたちの言語レベルに応じて、文字が認識できる場合は文字で、そうでない場合は絵で書きます。

- 3) カードを5枚準備します。
- 4) 文字の場合は、カードに番号を書いておきます。
- 5) 子どもたちと一緒にCDを聞きながら、何をしていくかを確認します。文字で書く場合は、はじめのうちは本の文章の一部分をそのまま写してしまいましょう。文章に慣れている子どもたちの中には、自分の文章でまとめていきましょう。人数が多い場合は、一枚ずつ担当してもらいます。
- 6) CDを聞きながら、声に合わせて自分の手持ちのカードを出します。

文字の場合(p.1)

You put up some lights.

p.1)



バーベキューの方法を本の文章からひろっていくには、コツがあります。主語を you に変える、動詞を原型にして命令文の形にすると書きやすいでしょう。それが難しければ、そのまま書きうつしてもらいましょう。

- 1) Put up some lights.
- 2) Make a barbecue.
- 3) Take the food outside.
- 4) Light the fire.
- 5) Cook burgers.

1	Wilf's dad wanted a party. He put up some lights.	ウィルフのパパがパーティーをしたがりま した。 ライトを取り付けました。
2-3	Wilma and Dad made a barbecue. Wilf and Mum took the food outside.	ウィルマとパパがバーベキュー用の囲い を組んでいます。 ウィルフとママは食材を外に運びます
4-5	Everyone helped. The dads lit the fire.	みんなお手伝いをしました。 パパは火をおこしました。
6-7	The fire went out. The children were hungry.	火が消えてしまいました。 子どもたちがお腹をすかしています。
8-9	The dads lit the fire again. It began to rain.	パパはもう一度火をおこしてみました。 雨が降り始めました。
10-11	The dads cooked burgers. The children were fed up.	パパはバーガーを焼きました。 子どもたちはあきてしまいました。
12-13	The burgers burned. "Yuk!" said Chip.	バーガーが焦げてしまいました。 「げーっ」チップが言いました。
14-15	Oh no! The dads got wet.	大変！ パパがぬれてしまいました。
16	"Hooray!" said the children.	「やったー！」子どもたちが言いました。

The Carnival 「カーニバル」 (83語)

世界には有名なカーニバルがあります。ブラジルのリオ・デ・ジャネイロ、アメリカのニューオーリンズなどです。これらは中世、ルネッサンス期のヨーロッパのカーニバルの精神や形式とは異なります。カーニバルでは人々のエネルギーが噴出します。

The Carnival では“*There was an old woman who lived in a shoe.*”というお話にちなんで、パパがコスチュームを着ています。

There was an old woman who lived in a shoe,
She had so many children she didn't know what to do;
She gave them some broth without any bread;
Then scolded them soundly and sent them to bed.

くつの中に住んでいるおばあさんがいました。
たくさん子どもがいて、どうしたらよいのかわかりません。
パンをあげずスープだけ飲ませ、
ひどく叱って寝かしつけました。

おうちで遊ぼう

●聞き取れるかな？

- 1) CDをかけます。最初は音に集中しながら絵をながめて、だんだんに文字も追いつながら読んでいきましょう。
- 2) 今度は聞き取りクイズをします。大人がトラックを飛ばしてCDをかけます。聞こえたページを、子どもに聞いてもらいましょう。開けられたら、“Good job.”「よくでき

たね」とほめてあげましょう。

グループで遊ぼう

●Read it aloud

グループに分かれて、チームで読みを競っていくゲームです。

- 1) 2チームに分かれます。
- 2) 子どもたちを2チームにわけて、列に並んでもらいます。
- 3) ひとつのチームは p.1 から、もうひとつのチームは後ろの p.16 から前のページに向かって読んでいきます。各チームから一人目が登場します。
- 4) 一人目がそれぞれ読んでいくと、ふたりが同じページにあたります。そこで、じゃんけんをし、勝ったらそのまま読み続け、負けたら次の人と交代します。変わった人はまた最初から読み直します。
- 5) 1冊を先に読み通したチームが勝ちです。

教室での指示：

- 1) Make two lines.
- 2) You are group A and you are group B.
- 3) One person from Group A starts reading from the cover to the end, and one person from Group B starts from the end to the cover
- 4) Group A and B will meet at the same place. There, the two persons do stone, paper, scissors. The winner goes on and the loser has to change with the next person and read from the very beginning.
- 5) The first group to read the whole book is the winner.

カーニバルには、いろいろなお話があります。教室では自分の意見を持つという事を重視していますが、意見を言ったり何かを感じるには、いくつか同じような本を見せると子どもたちも考えをまとめやすいようです。他の本と一緒に読んで、**Oxford Reading Tree** の *The Carnival* と比較して類似点・異なる点をあげたり、どのようなカーニバルなのかを子どもたちと話してみても、話題がさらに広がります。

1	The mums and dads were busy.	ママとパパは大忙し。
2-3	They made a giant shoe.	ママとパパはジャイアントサイズの靴を作っています。
	They put it on a trailer.	靴をトレーラーに乗せています。
4-5	The children dressed up.	こどもたちは、ドレスアップしています。
	Dad was the old lady.	パパはおばあさんになりました。
6-7	The giant shoe looked good.	ジャイアントシューズは見栄えがよいです。
	They took it to the carnival.	ジャイアントシューズをカーニバルに持っていきました。
8-9	The car broke down.	車が故障してしまいました。
	“Oh no!” everyone said.	「あーあ」みんなが言いました。
10-11	“Come on!” said Wilma.	「さあ」ウィルマが言いました。
	Biff, Chip, and Wilf pushed.	ビフ、チップ、ウィルフが押します。
12-13	“Come on!” said Kipper.	「よーし」キッパーが言いました。
	“Come on!” said everyone.	「行け！」みんなが言いました。
14-15	There was an old lady.	おばあさんがいます。
	She lived in a shoe.	靴の中に住んでいます。
	She had so many children.	おばあさんは子たくさんです。
16	It was a good job, too.	すばらしいカーニバルでした。

At the Pool 「プールで」 (84語)

子どもたちは、はりきってプール遊びをします。特に *At the Pool* に出てくるような室内プールだと、一年中泳げます。子どもたちは何気なく泳いでいますが、そこには仕事をしているスタッフもいます。

おうちで遊ぼう

●お仕事

- 1) CDを聞きます。
- 2) *At the Pool* を開きながら、働いている人を見つけましょう。見つけたら、“Here she/he is.” 「ここにいる」と言いながら、子どもに指さしてもらいましょう。
p.1/p.4 /p.9 監視員 a lifeguard p.12 店員 a shopkeeper
- 3) 監視員がいるのはどうしてなのか。プールで気をつけることは何なのかを、親子で話し合ってみましょう。

グループで遊ぼう

●言いかえ

- 1) CDを聞きます。
- 2) 代名詞に線を引きます。
- 3) 代名詞が何の代わりなのか、前の文章から見つけ丸でかこみます。
- 4) **Kipper** **Wilma's mum** **trunks** と書いたカードを2枚ずつ人数分用意します。
- 5) CDを流しながら、代名詞が出てくるたびに、3枚のカードのうち該当するカードを胸の前にあげます。

教室での会話

- 1) Please listen to the CD.
- 2) Mark the pronouns(he, his, him, she, they, them).
- 3) Mark the words which express the pronouns and circle them.
- 4) Prepare the cards : **Kipper** **Wilma's mum** **trunks**
- 5) Listen to the CD again and show the pronoun using cards.

Bull's-eye 「命中！」 (81語)

ダーツやアーチェリーでの的あてを見ていると、はりつめた雰囲気があります。家庭用には、針でなく安全なマグネットのダーツもあります。的にあてるには集中力が必要ですが、当たった時は爽快です。的のことを英語で bull's-eye と言います。

- | | | |
|-------|---|--|
| 1 | Kipper went to the swimming pool. | キッパーはプールに行きました。 |
| 2-3 | Wilma's mum took him.
She took Biff and Chip, too. | ウィルマのママが連れてきてくれました。
ビフとチップも連れてきてもらいました。 |
| 4-5 | It was a new pool.
Everyone wanted to swim. | 新しいプールでした。
みんな泳ぎたがりました。 |
| 6-7 | Kipper looked for his trunks.
He couldn't find them. | キッパーは海パンを探しました。
キッパーは海パンをみつけられませんでした。 |
| 8-9 | Kipper couldn't go in the pool.
"Sorry," said the man. | キッパーはプールに入れませんでした。
「だめです」男の人が言いました。 |
| 12-13 | Wilma's mum was in the water.
"Oh dear," she said.
Wilma's mum took Kipper to a shop. | ウィルマのママがプールにつかっていた。
「あら、大変」ママが言いました。
ウィルマのママがキッパーをお店に連れていきました。 |
| | She bought him new trunks. | ママは新しい海パンを買ってくれました。 |
| 14-15 | They went back to the pool.
"Oh no!" said Kipper. | ふたりはプールに戻りました。
「あれ、やっちゃった」キッパーが言いました。 |
| 16 | "I put them on at home," he said. | ¹⁰ 「おうちで海パンはいてきたんだ。」キッパーが言いました。 |

おうちで遊ぼう

●A darts match

- 1) CD を聞きます。
- 2) ダーツを用意します。ダーツがなければ、手作りしましょう。丸いボードにポイントの数字を書き込み、壁にかけられるようにします。手製の場合は小さなピンポンボールを投げて、当たった所を点数とします。
- 3) ダーツが的の中心に当たったら「I could hit a bull's-eye.」「的に当てられた」、はずれたら「I couldn't hit the bull's-eye.」「的をはずした」と言います。

グループで遊ぼう

●つなげてみよう

Bull's-eye では、p.2 から p.15 までは左ページが右ページの原因や目的になっており、左のページの結果が右ページという構成になっています。たとえば、p.4 Wilf kicked the ball. 「ウィルフがボールを蹴りました。(原因)」p.5 He won a gold fish. 「ウィルフが金魚を取りました。(結果)」というようになっています。そこでここでは2つの文章をつなげる練習をしてみましょう。

- 1) 画用紙に

so

 ,

because

 ,

but

 と書きます。
so「だから・するために・それで」、because「なぜなら」、but「しかし」の意味を確認します。
- 2) CDを聞きます。p.4 から p.15 までの文章の、左ページと右ページの間に so, because, but のどれを入れれば文脈が合うかを当てはめていきます。
- 4) p.4 から p.15 までの文章を、模造紙に so, because, but を入れて、書きかえていきましょう。

解答例:

p.4	so	p.6	so	p.8	because
p.10	but	p.12	because	p.14	so

(模造紙に書くには、どこにどのように書いていくのかを子どもたちに考えてもらうとよいでしょう。最初から最後まで自分でどのような手順を進めればよいのかを考えるのも重要です。真っ白な模造紙を渡された時に、「自由に書いてよい」という指示に対して、自ら考えられることは大切です。)

1	Everyone went to the school fair.	みんなが学園祭に行きました。
2-3	Wilma wanted a book. Her dad bought it for her.	ウィルマは本がほしかったのです。 パパがウィルマに買ってくれたのです。
4-5	Wilf kicked the ball. He won a goldfish.	ウィルフがボールを蹴りました。 ウィルフは金魚をあてました。
6-7	Dad wanted to win a teddy. He had to hit a bull's-eye.	パパはテディベアをねらってます。 それには的にあてないといけません。
8-9	Dad got cross. He couldn't hit the bull's-eye.	パパは怒っています。 的にあてられなかったのです。
10-11	Wilma was in the gym display. Wilf and Dad forgot to watch her.	ウィルマは体操の見本をしています。 ウィルフとパパはウィルマを見忘れてしまいました。
12-13	Wilma was cross. "You forgot to watch," she said.	ウィルマは怒っています。 「見こなかったでしょう」ウィルマは言いました。
14-15	Wilf and Wilma had a fight. They bumped into Dad.	ウィルフとウィルマはけんかしています。 ウィルフとウィルマはパパにぶつかってし

16 Bull's-eye!
Dad won a teddy.

まいました。
的に命中！
パパはテディベアをあてました。

Book Week 「図書週間」 (81語)

Book Week では本を作りながら、その中のキャラクターになって学校での一週間を楽しく過ごします。

おうちで遊ぼう

●曜日をおぼえよう

1) CDを聞きます。

p.1 の絵に一週間の予定が貼られています。まずは曜日を確認しましょう。

子ども向けのカレンダーを見ながら、曜日を指さして英語と日本語で読んでみましょう。子どもの好きなテレビ番組を言って、その番組が放送される曜日を言うってみるなどの練習をしましょう。

2) CDを聞きながら、それぞれのページが何曜日かを見ていきましょう。

p.1 Monday, p.2 Tuesday, p.4 Wednesday, p.6 Thursday, p.8 Friday.

ここは学校なので、土曜日と日曜日は記載されていませんね。

グループで遊ぼう

●Be a publisher

- 1) p.3 の黒板に本の作り方が書いてあります。その通りに作ってみましょう。
- 2) Book making. 本作り
 - 1.Think of a story. お話を考える。
 - 2 .Write it down. 書きとめる。
 3. Draw pictures. 絵を描く。
 4. Publish it. 出版する。
- 3) Author「著者」とは何かを学びます。ここではインターネットを使って **Oxford Reading Tree** の著者である Roderick Hunt, イラストレーター Alex Brychta について調べてもよいでしょう。

(以下引用: **ORT** のイラストレーターである Alex Brychta は、1956 年にチェコ共和国の首都プラハで生まれました。有名な画家の両親のもとに生まれ、幼少より絵を描いてきました。1968 年旧ソ連から逃れるためにチェコを脱出しました。**ORT** “Alex Brychta”より)

1	It was book week.	図書週間です。
2-3	The children made books.	子どもたちは本をつくります。
4-5	They made a big picture. They put it on the wall.	子どもたちは大きな絵を作りました。 絵を壁にはりました。
6-7	An author came. He made everyone laugh.	著者がきました。 著者はみんなを笑わせました。
8-9	The children dressed up. Kipper was a caterpillar.	子どもたちはドレスアップしました。 キッパーはあおむしになりました。
10-11	He ate an apple. They had a book party.	キッパーはりんごを食べています。 みんなはブックパーティーをしました。
12-13	Kipper ate a lettuce. He was the hungry caterpillar.	キッパーはレタスを食べました。 キッパーはハラペコあおむしです。

14-15	There was a book sale. Kipper was hungry.	本のセールもありました。 キッパーはお腹がすいていました。
16	"I am a hungry Kipper," he said.	「ハラベコキッパーだよ」キッパーは言いました。

The Cold Day 「寒い日」 (80語)

アイスクリームが大好きなキッパー。がたがた震えるほど寒いのに…

おうちで遊ぼう

●Cold or hot

- 1) CDを聞きます。
- 2) 大人が、おうちにあるものをどンドン言っていきます。子どもは熱いものならば、“It’s hot.”、冷たいものならば“it’s cold.”といます。
例)①大人: Juice. 子ども: It’s cold. ②大人: Fire. 子ども: It’s hot. ③大人: A pot. 子ども: It’s hot. ④大人: Ice. 子ども: It’s cold.

グループで遊ぼう

●アイスクリーム

- 1) 輪になります。
- 2) CDを流します。アイスクリームのおもちゃを2つ用意します。背中に手を回し、左手のお友達にアイスクリームを渡していきます。
- 3) 最後のページまで読んだ時にアイスクリームを持っている人を当てます。当てる人は、

“Are you cold?”「寒い？」と聞き、アイスクリームを持っている人は、“I’m not that cold.”「そんなに寒くないよ」と答え、アイスクリームがなければ“I’m too cold.”「寒すぎるよ」と答えます。

1	The children were in the sea.	子どもたちは海にいます。
2-3	They played in the waves. Dad made them laugh.	子どもたちは波乗りをしています。 パパは子どもたちを笑わせました。
4-5	Everyone was cold. Kipper was very cold.	みんな寒がっています。 キッパーはとっても寒いです。
6-7	Everyone wanted to jog. Kipper sat on the rug.	みんなジョギングをしたくなりました。 キッパーは敷物に座ってます。
8-9	“Come on, Kipper,” said Mum. “I’m too cold,” said Kipper.	「さあ、キッパー」ママが言いました。 「ボクは寒すぎるよ」キッパーが言いました。
10-11	“Come on, Kipper,” said Dad. “I’m too cold,” said Kipper.	「やってごらん、キッパー」パパが言いました。 「寒すぎる」キッパーが言いました。
12-13	“Come and help,” said everyone. “I’m too cold,” said Kipper.	「来て、手伝ってよ」みんなが言いました。 「寒すぎるよ」キッパーが言いました。
14-15	“Ice cream!” said Kipper. He ran to the van.	「アイスクリームだ！」キッパーが言いました。 キッパーはトラックにかけよって行きました。
16	Everyone looked at Kipper. “I’m not that cold,” he said.	みんながキッパーを見ました。 「そんなには寒くないんだよ」キッパーが言いました。

Glossary 本文に出てくることば(アルファベット順)

again	再度
an apple	りんご
ate	食べた
author	著者、作家
barbecue	バーベキュー、バーベキューの器具
began to-	—し始めた
bought	買った
broke down	こわれた
Bull's-eye	的
bumped	ぶつけた
burn(ed)	こげ(た)
busy	忙しい
car	車
carnival	カーニバル
caterpillar	アオムシ
children	子どもたち
cold	寒い
come on	くる、さあ
cook(ed)	料理(した)
couldn't	できなかった
display	お手本、陳列
dress(ed) up	着飾る(着飾った)

everyone	みんな
fair	フェア
fire	火
food	食べ物
forgot	忘れた
giant	ジャイアント、巨大な
goldfish	金魚
got cross	怒った
got wet	濡れた
gym	ジム
had a fight	けんかをした
had to—	—しなければならなかった
help(ed)	助け(た)
hit	打つ(打った)
Hooray	フレー、やった
hungry	お腹がすいた
in the sea	海に
in the waves	波に
jog	ジョギングする
kicked	蹴った
lady	女性
laugh	笑う
lettuce	レタス
lights	電球
lit(light)	ともした

look(ed) good	よく見える
made	作った
old	古い
on the rug	ラグに
on the wall	壁に
outside	外で
picture	絵
played	遊んだ
put	置く、つける、着る
rain	雨が降る
ran to —	—に走った
said	言った
sale	食べた
burgers	バーガー
school	学校
shoe	靴
teddy	テディベア(くまのぬいぐるみ)
that	あれ
they	かれらは、それらは
too	... もまた
trailer	トレーラー
van	バン
very	とても
want(ed)	したい(したかった)、ほしい(ほしかった)

watch	見守る、見る
week	週
went out	消えた
were	are の過去形
won(win)	勝った(勝つ)
Yuk	げっ

各ストーリーの関連語句

The Barbecue	
brick	れんが
pudding	プリン
blaze	炎
unplug	プラグを抜く
The Carnival	
resident	居住者
association	協会
float	山車、浮き
competition	競争
At the Pool	
notice	お知らせ
visitors	ゲスト
safety rules	安全ルール
changing rooms	更衣室
No underpants to be worn in the pool.	プールでは下着着用禁止
Please shower before swimming.	泳ぐ前にシャワーすること

Bull's-eye	
target	標的
the crowd	人ごみ
Book Week	
display	展示
publisher	出版社
artist	芸術家、画家
paste	のり
non toxic	無害の
The Cold Day	
jump over each wave	波を飛び越す
long crinkly seaweed	長い波状の海草

The Duck Race 「アヒルのレース」

The Duck Race		アヒルのレース
PG 1	Wilma had an idea.	ウィルマはいいことを思いつきました。
PG 2-3	The children made six ducks. “Let’s have a duck race,” said Wilma.	子ども達は六羽のアヒルを作りました。 「アヒルのレースをしよう」とウィルマが言いました。
PG 4-5	Mum began the race. “Drop the ducks in,” said Mum.	ママがスタートの合図をしました。 「アヒルを落として」とママが言いました。
PG 6-7	The ducks went down the stream. Oh no! Wilma’s duck sank.	アヒル達は小川を流れて行きました。 あらまあ！ ウィルマのアヒルは沈んでしまいました。
PG 8-9	Chip’s duck got stuck in the reeds. Biff’s duck got stuck in the weeds.	チップのアヒルはアシの中で動かなくなりました。 ビフのアヒルは草むらで動かなくなりました。
PG 10-11	Wilf’s duck got stuck on a log. “Get it off with a stick,” said Chip.	ウィルフのアヒルは丸太の上で動かなくなりました。 「棒で取って」とチップが言いました。
PG 12-13	Kipper’s duck went fast. It went past Dad’s duck.	キッパーのアヒルは早く進みました。 パパのアヒルの横を通り過ぎて行きました。
PG 14-15	Two swans flew down. They landed on the ducks!	二羽の白鳥が飛び降りて来ました。 アヒル達の上に降りて来たのです！
PG 16	“Six soggy ducks,” said Kipper.	「六羽のびしょぬれアヒルさん」とキッパーが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Kipper たちがどこで何をしているのか考えます。タイトルを読み、川に浮かんでいるのが ducks であることがわかりますが、ほんものでしょうか？ 何羽いますか。
- 2) 1 ページの絵を見て、Kipper たちが、何の工作をしているのか考えます。表紙を再度見せても良いでしょう。誰の家にいるのか、家の中のどの部屋にいるのか、テーブルに広げられている文房具を英語で言えるか、子どもの英語を引き出し

ましょう。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。

- 3) Wilma had an idea. はレベル2の The Big Egg で印象深いセンテンスです。The Big Egg を見せて、ストーリーを思い出し、Wilma がこれからどうしようとしているのか推測させましょう
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進みます。duck, stick, stuck の最後の ck の音が共通です。reed, weed, stream は長母音の[i:]。母音の種類が多いので、それぞれをきちんと発音して聞かせるようにしましょう。Wilma's duck sank. の sank、Chip's duck got stuck. の got stuck などは、驚き、悔しさを込めて読んでください。13 ページまで読み進んだら、14 ページを見せる前に、最後にどんなことが起きるか、推測させましょう。
- 5) ボール紙で ducks を作り、割り箸に留めます。2 枚の絵で割り箸をはさむように作り、裏表が使えるようにしましょう。大きな布(風呂敷でも良い)を川に見立て、絵本の読みに合わせて ducks を動かして The Duck Race 全体を act out します。子どもの人数や時間の余裕によっては、reeds, weeds, log も作ると良いでしょう。

Sniff 「スニフ」

Sniff	スニフ
PG 1 “Will you look after Sniff today?” said Mrs May.	「今日スニフの世話をしてくれませんか？」 とメイ先生が言いました。
PG 2-3 Wilf and Wilma were happy. They wanted to look after the puppy.	ウィルフとウィルマは喜びました。 彼らはその子犬の世話がしたかったので す。
PG 4-5 They took Sniff to the park. The puppy was excited.	彼らはスニフを公園に連れて行きました。 子犬のスニフは興奮していました。
PG 6-7 Sniff liked to roll on her back... jump up for a stick... run after a ball... and bark at a cat.	スニフはあお向けに転がったり、 棒めがけて飛び上がったたり、 ボールを追いかけたり、 ネコに向かって吠えたりするのが好きで した。

	Then Sniff went in the mud.	それからスニフは泥の中に入って行きました。
PG	She ran after a duck.	アヒルを追いかけました。
8-9	She jumped in the pond, and she barked at a dog.	池に飛び込みました。 そして犬に向かって吠えました。
PG	“I am hot,” said Wilf. “I want a rest.”	「暑いよ」とウィルフが言いました。 「ひと休みしたいな」
10-11	“I am hot, too,” said Wilma. “I want a drink.”	「私も暑いわ」とウィルマが言いました。 「飲み物が欲しいな」。
PG	Mum couldn't find Sniff.	ママはスニフを見つけられませんでした。
12-13	She couldn't find Wilf and Wilma	ママはウィルフとウィルマも見つけられませんでした。
PG	Mum and Dad looked and looked.	ママとパパは探しに探しました。
14-15	“They must be lost” said Mum.	「みんな迷子になったに違いないわ」とママは言いました。
PG	They were fast asleep.	彼らはぐっすり眠っていました。
16	“They are worn out,” said Dad.	「疲れ切ったんだね」とパパが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Wilma がどこで何をしているのか考えます。タイトルを読み、Sniff が犬の名前であることを教えます。鼻をくんくんする真似をしてみせ、犬の名前の意味を教えます。犬を飼っている子どもがいたら、名前を聞きます。
- 2) 1 ページの絵を見て、何が起きているか考えます。Mrs May は子どもたちの学校の先生であること、手に車のキーを持っているので、近所に住んでいるのではなさそうですね。Wilma's Dad は、たくさんのもを手に持っています。これも Mrs May が持ってきたのでしょうか？大きな緑色のものは、Sniff のベッドですね。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。
- 3) today と May で、ay を [ei] と読むルールがわかります。
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進みます。happy と puppy の最後の y が同じ音、back と cat、mud と duck、pond と dog のように、同じページに登場する同じ母音に気づかせましょう。Sniff がすることの動詞は、意味を表すように絵を指さしたり、身振り手振りをしながら読みましょう。

絵本を閉じて、Sniff がしたことを思い出します。子どもが日本語で言ったら、英語で言って聞かせ、ボードに書き出します。絵本の 6 ページから 8 ページを再度読み、

ボードに書き出した英語をチェックしましょう。Who wants to be Sniff?と聞き、希望する子供が Sniff になります。6 ページから 8 ページまでをゆっくり読み、Sniff になった子供が act out します。小道具として、棒、ボール、猫、鳥、犬のぬいぐるみを用意すると、いっそう楽しくできます。

Pond Dipping 「池すくい」

Pond Dipping	池すくい
PG 1 Wilf and Wilma were at the pond.	ウィルフとウィルマは池にいました。
PG The net got stuck.	網が引っかかりました。
2-3 “Help me pull,” said Wilf.	「引っ張るのを手伝って」とウィルフが言いました。
PG They pulled the net.	彼らは網を引っ張りました。
4-5 It was stuck on some junk.	網は何かゴミに引っかかっていたいました。
PG Wilma got a big stick.	ウィルマは大きな棒を持ってきました。
6-7 “Let’s pull it out,” she said.	「引きあげよう」と彼女は言いました。
PG Wilf and Wilma pulled.	ウィルフとウィルマは引っぱりました。
8-9 They couldn’t pull the junk out.	ゴミを引き上げることは出来ませんでした。
PG Mum and Dad helped.	ママとパパも手伝いました。
10-11 They pulled out an old pram.	みんなで古い乳母車を引き上げました。
PG Plop! A frog hopped out.	ポチャン！一匹のカエルが飛び出しました。
12-13 It made Wilf jump.	ウィルフはびっくりして飛びあがりました。
PG Splash! A fish jumped up.	ピチャン！魚が飛びあがりました。
14-15 “A pram full of fish,” said Dad.	「魚でいっぱい乳母車だね」とパパが言いました。
PG 16 “Pram dipping!” said Wilma.	「乳母車すくいよ！」とウィルマが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Wilma がどこで何をしているか話し合います。タイトルを読み、意味を教えます。池を知らない子どももいるかもしれません。川と違って水の流れは無いけれど、いろいろな生き物が住んでいることを教えます。
- 2) 1 ページを見せ、家族 4 人がどこで何をしているか話し合います。Sniff が飛び込んだ pond だということに気づくでしょうか。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。were は頻度の高い sight word です。英文を読んで聞かせます。
- 3) pulled, helped, hopped, jumped の過去形の ed の発音に気をつけて読んで聞かせましょう。out, up の意味を身振り手振りで示しながら読みます。Plop! Splash! は日本語でどのように言ったらよいか子どもに考えさせましょう。
- 4) このストーリーは新出単語の net, pram, junk, full などが、絵を見れば意味が分かるようになっていました。2 ページ以降も、必ず絵について話し合ってから、2) の方法で読み進みます。
- 5) 希望する子どもに Mum, Dad, Wilf, Wilma の役を割り当て、絵本を全体を act out します。大きい箱を pram に見立て、魚、おたまじゃくし、カエルなど(あればプラスティックのおもちゃ)を紙で作って入れます。マグネットを利用して Pram Dipping ゲームをしても良いでしょう。(魚やカエルにクリップを留めます。鉛筆の先にマグネットを糸でつるして、pram の中の生き物を捕ります。)

The Ice Rink 「スケートリンク」

The Ice Rink		スケートリンク
PG 1	Wilf and Dad went to the ice rink. They put skates on.	ウィルフはパパとスケートリンクに行きました。 ふたりはスケート靴を履きました。 ふたりは氷の上に行きました。
PG 2-3	They went on to the ice. “Hold my hand,” said Dad.	「僕の手につかまって」とパパが言いました。 た。
PG 4-5	Wilf held Dad’s hand. “This is fun,” said Wilf.	ウィルフはパパの手につかまりました。 「これ楽しい」とウィルフが言いました。
PG 6-7	Wilf let go of his Dad’s hand He began to skate.	ウィルフはパパの手を離しました。 ひとりで滑り始めました。

PG 8-9	Whoops! Wilf sat down with a bump. “This ice is cold,” said Wilf.	おっと！ウィルフはしりもちをつきました。 「この氷は冷たいね」とウィルフが言いました。
PG 10-11	Dad began to skate. He went round the rink.	パパは滑り始めました。 彼はリンクを回りました。
PG 12-13	“Look at me spin!” said Dad. “Look at me jump!”	「僕のスピンを見て！」とパパが言いました。 「僕のジャンプを見て！」
PG 14-15	Dad got some cold drinks. “Look out, Dad,” said Wilf.	パパは冷たい飲み物を買ってきました。 「気をつけて、パパ」とウィルフが言いました。
PG 16	Oh no! A banana skin.	あ〜あ！ バナナの皮だ。

- 1) 表紙を見せ、Wilf と Dad がどこに行くところか話し合います。Wilf の前後の子どもたちがスケート靴を持っているのがヒントです。タイトルを読みます。スケートをしたことがあるか聞き、子どもたちの体験をひきだしましょう。
- 2) 1 ページを見せます。子どもたちは「服を着る」という英語の put on を知っているでしょうか？英語では、身につける動作はすべて put on です。英文を指さしながら読んで聞かせます。次のページはどんな場面が想像します。
- 3) ice, skate は、i-e は[ai] と、a-e は[ei]と、アルファベットの名前と同じ発音です。頻度の高い動詞の現在形と過去形がたくさん出てきます。went, held, began, sat, got, spin, jump はフォニックス基本ルールで読めますが、put, said は sight words として読めるようにしましょう。
- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに、何が起きているか、Dad と Wilf が何を言っているか想像してから英文を読みます。アイスリンクの周囲で見物している人たちにも注目し、watching, eating, taking pictures, talking, sleeping など、子どもが知っている英語を引き出すことができます。4 ページには、学校の用務員さんがいるのがわかりますか？
- 5) TPR (Total Physical Response = 全身反応法)ゲームをします。

Put on your skates.

Go on the ice.

Hold Dad's hand.

Let go of Dad's hand.

Begin to skate.

Go round the rink.

Spin.

Jump.

Stop.

上記の commands(命令文)を言いながら、動作をして見せ、子どもも動作をします。子どもは英語を言う必要はありません。最初は順番に commands を言い、慣れたら順番を変えて言います。慣れたら、子どもが commands を言う役をします。

The Mud Bath 「泥んこお風呂」

The Mud Bath	泥んこお風呂
PG 1 Dad was playing football.	パパはサッカーをしていました。
PG He ran with the ball.	彼はボールを追って走りました。
2-3 “Go on Dad!” called Chip. “Kick it!”	「行け、パパ！」とチップが叫びました。「蹴って！」
PG Dad fell over in the mud. Splat!	パパはドロの中に倒れました。バチャ!
4-5 “Bad luck, Dad!” said Biff.	「運が悪かったね、パパ！」とビフが言いました。
PG “Oh Dad,” said Mum. “What a mess.”	「まあ、パパ」とママが言いました。「なんてありさま」
6-7 “I want a bath,” said Dad.	「お風呂に入りたい。」とパパが言いました。
PG Dad went up to the bathroom.	パパはお風呂場へ上がって行きました。
8-9 He ran a bath.	お風呂にお湯を入れました。
PG Dad came down.	パパは下に降りてきました。
10-11 There was football on TV.	テレビでサッカーをやっていました。
PG Dad looked at the football.	パパはサッカーを見ました。
12-13 “Go on!” he called. “Kick it!”	「行け！」と叫びました。「蹴るんだ！」
Dad forgot the bath.	パパはお風呂のことを忘れました。
PG Drip! Drop! Drip!	ポタ!ピタ!ポタ!
14-15 Plop! Plop! Splat!	ポチャン!ポチャン!パチャン!
“What was that?” said Dad.	「あれは何だろう?」とパパが言いました。
PG 16 Splash! “Oh no,” said Dad.	バッチャーン!「なんてこった」とパパが言いました。

- 1) 表紙を見せ、Dad と Chip と Biff が何をしているか話し合います。サッカーボールが見えますから、すぐ分かりますね。イギリスではサッカーのことを football ということを教えましょう。タイトルを読みます。同じシリーズの Sniff の 8 ページに mud が出てきました。「泥のお風呂」って何のことでしょうね、と言って、ページをめくります。
- 2) 1 ページを見せます。サッカーをしていますね。英語で言えるかな？と聞き、子どもの英語を引き出してから英文を読みます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、ran, fell, mess。効果音の drip, drop, plop, splat も音の足し算で読んでみましょう。
- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに場面について話し合い、英語で何が言えるか子どもの発言を促してから英文を読みます。せりふの部分は声色を変えて読みましょう。効果音の drip, drop, plop, splat は、読んだあと、日本語ならどんな音か、子どもと一緒に考えましょう。(ポタリポタリ、ザブザブ、ポチャンポチャン)
- 5) Family words を読んでみましょう。
まず、ball とボードまたは大きな紙に書きます。その下に子どもが既に知っている単語を書きます。

ball	call	fall
hall	tall	wall

単語を忘れていたら、ジェスチャーをして意味を思い出させるか、日本語を教えます。6 つの単語は、最初の子音が変わっているだけです。早読み競争をしても良いし、先生が動作をして、子どもが単語を言い、単語を指さすというアクティビティをしてもよいでしょう。

同様のアクティビティを次ぎの単語グループですることができます。

can	man	pan
ran	van	

The Steel Band 「スチールバンド」

The Steel Band		スチールバンド
PG 1	A band came to play.	バンドが演奏しにやってきました。
PG 2-3	“My name is Stan,” said a man. “I want you to help us.”	「私の名前はスタンです」と男は言いました。 「みんなに手伝ってもらいたい」
PG 4-5	“I want you to clap,” he said. “Clap your hands and tap your feet.”	「手を叩いてもらいたい」と彼が言いました。 「手を叩いて、足を鳴らしてもらいたい」。
PG 6-7	“I want you to sing a song.” “Sing it with us.”	「歌ってもらいたい」。 「私たちと一緒に歌ってもらいたい」。
PG 8-9	The children sang with the band. “Now clap as you sing,” said Stan.	子ども達はバンドと一緒に歌いました。 「さあ、歌いながら手をたたいて」とスタンが言いました。
PG 10-11	“Who wants to play in the band?” The children put up their hands.	「一緒に演奏してみたい人はいるかな？」 子ども達は手を挙げました。
PG 12-13	Everyone wanted to play. “You can all play,” said Stan.	みんな演奏してみたかったです。 「みんな演奏していいよ」とスタンが言いました。
PG 14-15	Wilf hit the drum. “Tap it,” said Stan. “Don’t bang it.”	ウィルフはドラムを叩きました。 「軽く叩いて」とスタンが言いました。 「ひっぱたいちゃダメだよ」。
PG 16	What a grand band!	なんてすばらしいバンドでしょう！

- 1) 表紙を見せ、Mrs May, Wilf, Biff が何をしているか話し合います。バンドのポスターを見ているですね。Mrs May がいるので、学校にバンドがくるのでしょうか？学校に、人形芝居や音楽演奏などが来たことがあるか聞き、子どもたちの体験を引き出しましょう。
- 2) 1 ページを見せます。バンドが学校に演奏にきたところですね。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉め、読んで聞かせます。
- 3) came, name は同じルールです。短母音[æ]を含む単語がたくさん出てきます。band, man, Stan, clap, hand, tap, sang, bang, grand です。にこっと笑ってあごをぐ

っと引き下げると[æ]の音が上手に言えます。先生は、大げさにこの口元を見せましょう。

- 4) 2 ページ以降は、見開きごとに場面について話し合います。a=[æ]を含む単語を見つけさせ、音の足し算をして単語を読んでみましょう。その後で、英文を読んで聞かせます。I want you to (動詞)…というパターンが繰り返されます。I で自分を指さし、want you で相手に両手を差し出し、to (動詞)で、動詞の意味をジェスチャーしながら読んで聞かせると良いでしょう。
- 5) この絵本ではセリフは Stan だけです。先生が Stan になって、I want you to (動詞)のパターンの英語を言って、TPR ゲームをします。stand up, sit down, pick up a pencil, open the door, など、教室での動作を、このゲームで復習しましょう。